

# 花と緑の銀行だより

227号 2023.5



滑川市中村地区のチューリップ畑と立山連峰(写真：滑川支店)

## 目次

- 花と緑の提言 滑川市の歩みと緑化推進について (滑川支店) ..... 2
- 活動事例 富山支店の活動について ..... 3
- 技術講座 富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン ～ 43 イチハツ～ (職藝学院 渡邊美保子) ... 4
- 緑づくりコーナー 庭木に利用する樹種の特徴と管理 ～ カイツカイブキ～ (樹木医 西村正史) ... 5
- とやまの花壇 ～ 高岡市 立野栄町『ふれあいロード』～ ..... 6
- この人あり 仲間と共に 最高の花壇づくり (入善支店 栢山地方銀行 島先紀子) ..... 7
- 報告及びお知らせ 令和4年度 花とみどり・ふれあいフェアなど ..... 7



## 滑川市の歩みと緑化推進について

花と緑の銀行 滑川支店長

滑川市長 水野達夫

滑川市は、富山県中央部からやや東北寄りに位置し、南～南東方向には3,000m級の山々が連なる立山連峰、北～北西方面に“天然の生簀”と呼ばれる富山湾と、さらに遠く能登半島を望む風光明媚な街です。



写真1 滑川市の全景（富山湾～立山連峰）

春の訪れを告げる龍宮からの使者「ホタルイカ」や、天然ミネラルが豊富な「海洋深層水」は、今では滑川の名を全国へと知らしめ、“越中とやまの薬売り”で知られる「家庭配置薬」は古より現代へ受け継ぎ、劔岳から早月川を流れる豊かな水資源を利用した工業は、市民1人当たり工業出荷額の県内最上位をもたらしております。

そのほか、肥沃な黒ボク土壌を活かした水稲、里イモ、りんご、チューリップ栽培など、まさに「海の恵み」「山の恵み」「郷の恵み」が“三位一体”となって市発展の原動力となり、滑川市は今年度市制施行70周年を迎えます。

本市では、市民自らが“暮らしやすい住環境の向上”を目指して花と緑にあふれる街づくりを創造し、公園やフラワーロードの整備、街路の植栽、花壇の運営など潤い空間の整備に努めております。



写真2 行田公園の花菖蒲

今では行田公園の花菖蒲や富山平野を一望できる東福寺野自然公園が有名ですが、そのほかにも毎年6月に、市道滑川駅前線の中央分離帯（通称「ほたるいかプロムナード」）と、滑川駅南部の市道駅南環状線の歩道プランターに地域住民自らの手で花苗の植え込みを行い、初夏の滑川を色鮮やかに彩ります。

花と緑の銀行滑川支店は、頭取9名、グリーンキーパー36名の計45名で市内全地区の緑化活動を担っており、そのメンバーで構成される「滑川市花と緑の活動推進協議会」は、平成8年度に設立して以来四半世紀に亘って様々な活動を実施してきました。

おもな活動内容としては、市内各公共施設などへ花苗の配布のほか、地域花壇（置県百年記念花壇やシンボル花壇など全9箇所）と、滑川市スポーツ・健康の森公園内にある「市制施行60周年記念花壇」に春と秋の花苗植えや花壇管理などを行っています。そして長年の活動が認められ、令和4年5月21日に奈良県で開催された「第33回全国『みどりの愛護』のつどい」では、国土交通大臣表彰を受賞することができました。



写真3 東福寺野自然公園の「海見える時計台」

本支店では、これからも花と緑が豊かに咲き誇り、四季の移ろいを“見て”“触れて”“感じて”いただきながら過ごせる住みよい街づくりを目指して、緑化推進活動に取り組んで参ります。もちろんこうした取り組みには次の時代を担う指導者や中心人物となる方、興味を持っていただける方の発掘や育成は必要不可欠であり、頭取・グリーンキーパーの皆様におかれましては、更に“活動する”について、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

末筆ではありますが、公益財団法人花と緑の銀行をはじめ県内各地区で緑化推進にご尽力くださっている皆様方の、今後ますますのご活躍を心から祈念申し上げます。

# 富山支店の活動について

花と緑の銀行富山支店 事務局長  
富山市公園緑地課 課長 澤野重雄

## 1 富山支店の構成について

富山支店には、79の地方銀行があり、頭取・グリーンキーパー346名がそれぞれの地方銀行に所属しています。また、本市では、緑豊かな都市環境の整備を図り、市民の緑を育てる思想と基礎知識の普及を期するため、頭取・グリーンキーパーを「富山市緑を育てる推進員」に委嘱しています。

## 2 支店活動について

1年間の主な活動を紹介します。

本支店では、5月下旬から6月上旬にかけて各地域へ花苗の配布を行っています。また、6月下旬から7月中旬にかけて「富山市花いっぱいコンクール」を開催し、このコンクールで優秀な成績を収めた花壇を「富山県花のまちづくりコンクール」に推薦しています。また、支店活動が波及し、地域によっては、独自の花壇コンクールを開催するなど、花いっぱい運動を通じて、花や緑を愛し、育てる楽しさが地域に広がってきています。

## 3 支店花壇の紹介

ここでは、令和4年度に花と緑の銀行の事業を活用した本支店の花壇を紹介します。

①花で飾るフォトスポットin富山湾岸サイクリングコース事業を活用し、岩瀬浜駅でフォトスポット設置事業を行いました。普段から花壇活動をしている岩瀬地方銀行の方々に協力いただき、岩瀬浜駅を花と緑で彩るとともに、県内外からの多くの利用者に富山県の魅力をPRすることができました。また、蓮町駅で花壇リフレッシュ事業を実施しました。こちらも、普段から蓮町駅の花壇管理をしている萩浦地方銀行の方々に協力いただき花壇再生を行いました。



写真1 岩瀬浜駅花壇

②花のまちづくり新拠点創出支援事業を活用し、近年地域一体となり花壇活動を行っている旭町2の組町内会が、旭町公園において花壇づくり体験会を行いました。5月下旬に行われた花壇づくり体験会では20名を超える多くの方が参加し、地域における緑化活動の広がりがみられました。



写真2 旭町公園花壇

## 4 全国花のまちづくりコンクール 優秀賞花壇の紹介

「第32回(2022年)全国花のまちづくりコンクール」において、富山市立新庄北小学校&地域団体が花のまちづくり優秀賞を受賞しました。

この花壇は、「富山市花いっぱいコンクール」でも直近3年間連続で最優秀賞を受賞している花壇です。活動の特徴として、新庄北地方銀行と社会福祉協議会が協力して、花の構造などの学習会や花壇整備を実施するなど、世代間交流の場となっています。通学路沿いに整備された全長123m幅1.1mの花壇には、新庄北小学校の3年生が自分達でデザインを考え、植込みを行った、1,600本、13種類の花が咲き誇り、地域の方々の憩いの場になっています。春には芝桜・スイセン・チューリップ、秋には彼岸花・コスモスが咲き、長期間花壇を楽しむことができます。



写真3 新庄北小学校&地域団体花壇

## 5 結びに

本支店では、花のある美しい環境を作るために活発に活動してきました。富山市の花いっぱいコンクールが盛り上がりを見せているのも、ひとえに市民の方々の緑化意識の高さによるものと考えています。

今後、ますます、富山市全体が花と緑であふれた潤いあるまちになるように、市民協働で、花と緑の推進活動を積極的に進めてまいりたいと考えております。

# 富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン ～ 43 イチハツ ～

職藝学院

教授 渡邊美保子

イチハツは、中国原産のアヤメ科の宿根草です。草丈は40~50cmほどで、4月末から5月中旬に藤紫色の花を咲かせます。アヤメの仲間では一番初めに花が咲くので「一初」といわれています。径10cmほどの花が空中を舞うように咲きます。イチハツの見ごろは、枝分かれした花茎が最初に伸びた花茎の高さに追いつく頃です。2本の茎の先端に同時に花が咲く姿はとても華やかです（写真1）。



写真1 イチハツ。5月中旬。向かって右側の花茎が先に伸び、すでに1つめと2つめの花が終わり、3つめの蕾が開花したところ。向かって左側の花は、枝分かれした茎の先に咲いた1つめの花。花の下には2つめの蕾が見える。

イチハツは、ショウガのような太い根茎から刀のような葉を扇状に重ねながら伸びてゆきます。4月中旬になると、根元から伸びた1枚の葉の付け根から蕾が顔を出します（写真2）。蕾をつけた花茎は、1枚の長い葉に守られながら1日で10cmも伸びるのです。葉の高さを越える頃、蕾を包んでいた苞が割れて中からきっちり折りたたまれた藤紫色の蕾が顔を出します（写真3）。蕾は3日ほどかけて苞から飛び出して筒状に膨らみ、その後花びらがゆるんで開花します。

イチハツは、外側に3枚、内側に3枚の花びらを持ちます。外側の花びらは垂れ下がり、花びらの中央に鶏のとさかのような白い突起と濃い紫色の斑点や筋が付いています（写真4）。内側の花びらは、斜め上方向に開き突起や斑点はあり

ません。1つめの花が開くとその下では2つめの花の蕾が待っています。2つめの花は1つめの花が終わってから1日~2日後に開花します。1つめに咲いた花がカラカラに乾いて渦を巻いたような姿になると3つめの蕾はその隣で咲く準備をしています（写真5）。花は4日程でしぼみますが、枝分かれした花茎から3つの花が順番に咲くので2週間位は楽しむことができます。それぞれの花茎の1つめに咲いた花には楕円形の果実が付きます。花付きを良くしたい場合は摘み取りましょう。種子に送られる養分を根や葉の成長に使うことができます。

イチハツは、根茎が太く養分と水分を蓄えることができるため乾燥に強い宿根草ですが、西日はあまり好みません。花壇の東側で午前中の太陽の光が当たる場所に植栽すると良いでしょう。イチハツの葉は青みを帯びた黄緑色のためそれだけで美しく、4月から10月頃まで花壇の花々を引き立ててくれます。



写真2 蕾は薄緑色の苞に包まれている。茎を包む細長い葉の中には次の蕾が隠れている。



写真3 蕾を包んでいた苞の中から折りたたまれた藤紫色の花びらが突き出てくる。



写真4 外側の花びら3枚の付け根に白い突起がある。



写真5 1つの蕾には3つの蕾が隠れていて、1つずつ開花してゆく。

# 庭木に利用する樹種の特徴と管理

## ～ カイツカイブキ ～

(一社)日本樹木医会富山県支部  
樹木医 西村 正史

2018年の秋に富山市内のある工場から周囲に植栽されているカイツカイブキが多数枯損したので(写真1)、その原因を知りたいとの相談を受けました。カイツカイブキの枯損木が多発するという被害は初めての経験であったので、早速その状況を調べるとともに聞き取り調査を行いました。さらに、同僚の樹木医の協力を得て病害の可能性についても検討しました。今回はその結果を紹介したいと思います。

### 1 枯損木が発生した原因の究明

#### (1) 枯損木の状況とこれまでの管理状況

枯損木の発生は2018年の5月頃からであり、多発したのは7～8月とのことでした。特に工場敷地の東側の並木で多く発生し、それ以外ではきわめて少ないか、ないという状態でした(写真1、2、3)。枯損木が多く発生した区域の並木は昨年まで花壇として利用されていたとのことで灌水をしていたが、今年は花壇としては利用していないので灌水はしていないとのことでした。この区域は裸地化しており、雑草等はほとんど見られませんでした(写真1)。この区域のカイツカイブキは丸い玉のような景観を維持するため、2年前に強い剪定が行われたとのことでした(写真1)。

枯損木がきわめて少ない区域ではマルチ処理されており(写真2)、枯損木がない区域では草花が繁茂した状態でした(写真3)。

#### (2) 病虫害の発生状況

樹全体が枯死しているので、根元付近にカミキリの被害が想定されましたが、成虫が脱出した孔や幼虫の食害による樹脂の流出等はまったく見られませんでした。また、樹木が衰弱した際に寄生

して枯死させる傾向の強い病原菌もあるので、同僚の樹木医に鑑定を依頼したところ、そのような病原菌としてペスタロッチア病菌、芽枯病菌、サーコスポーラ属菌等が検出されたとの報告を頂きました。

#### (3) 枯損木が発生した原因

衰退の始まりは、枯損木が多発する2年前に実施された強い剪定により樹勢が衰弱したのではないかと考えられます。この強剪定による樹勢の衰退が十分回復していない2年後の2018年の夏に高温と降水量の少ない日が続き、その期間にまったく灌水をしなかったこともあり、水不足は深刻な状況となり、乾燥に強いと言われているカイツカイブキでも樹勢の衰退がさらに進行したものと考えられます。この過程でペスタロッチア病菌等の寄生によって枯死に至ったものと考えられます。

### 2 維持管理

カイツカイブキはイブキの園芸品種です。日当たりを好む陽樹で成長が早く、潮風、大気汚染、乾燥に強い樹種で、土壌は特に選ばず、砂質土でも育つ優れたものです。しかし、今回の事例からもわかるように、このような特性を持っていても枯死に至る場合があります、特に植物に灌水することの大切さがよくわかりました。

また、枯損木が少なかった区域やまったくなかった区域では裸地化しない管理がなされており、この管理は水不足を軽減する効果があることもよくわかりました。

余談ですが、カイツカイブキはナシ赤星病の中間宿主です。富山市呉羽地区のようなナシの生産地域では植栽しないようにしましょう。



写真1 枯損木が多く発生した東側の区域 (裸地化している)



写真2 枯損木がきわめて少ない区域 (マルチされている)



写真3 枯損木がない区域 (花壇管理されている)

# とやまの花壇 ～高岡市 立野栄町『ふれあいロード』～

富山の各地域で、皆さんが丹精込めてお世話されている素晴らしい花壇をご紹介します。  
花とみどりの癒しのスポットを、是非、ご探訪ください。

## 1 花壇の特色

高岡市西部を流れる祖父川の樋詰橋北詰めにある樋詰交差点を西に向かうと、右側の歩道に延々と続く花の道が見えてきます。これが、立野栄町花づくり会が管理されている『ふれあいロード』です。

立野栄町では、平成3年に西高岡駅周辺が緑化指定区域になったのを契機に、歩道にプランターを並べて花いっぱい地域づくりに努めてきました。

学校の通学路となっている歩道の限られたスペースを活用して自治会、児童クラブと花づくり会で連携して花を育て、地域のコミュニケーションの場を創出するとともに、花を眺めて心のやすらぎ、潤いを感じてもらいたいと思っています。



写真2 立野栄町『ふれあいロード』(東へ)

会や児童クラブと植栽したプランターを並べ、花のエリアの拡大を図っている。

## (2) 花壇づくりへの思い

花づくり会では、花づくりの活動においても、やはりそれを担う人づくりが重要との考えから、様々な機会を活用して、花のまちづくり活動の趣旨と事業の内容を詳細に説明し、1人でも理解者を増やすように取り組んでいます。

最近では、散歩で通りかかる人たちが、ふれあいロードを眺めて「きれいだ」「素晴らしい」と喜んで、花の名前や育て方について世話係の住民と話す機会が増えてきました。

一方で、プランターでの花づくりのため、冬期間は除雪の邪魔にならないようプランターを片付ける必要があります。重いうえに数が多いことからかなりの重労働となっていますが、花を育てるという1つの目標に向かって、みんなで協力することで地域にチームワークが生まれ、また、良い結果が出た時にはみんなで喜びを分かち合うことができる地域となっています。

立野栄町花づくり会は、平成30年から令和4年まで、5年連続で県の花のまちづくりコンクールの花の道部門で優秀賞を獲得していますが、あと一歩で最優秀賞を逃しており、「いつかは最優秀賞を取って念願のプレミアム部門に参加したい」と、立野栄町花づくり会の小林隆雄代表にお話と意気込みを伺いました。



写真1 立野栄町『ふれあいロード』(西へ)

## 2 活動概要

### (1) 取組みと工夫

- ・花壇のデザイン等は女性グリーンキーパーが、花がら摘みや除草、施肥は男性グリーンキーパーが担当し、水やりは当番制で行っている。
- ・歩道の限られたスペースを最大限に活かすために、プランター6個を高低差をつけて3列に並べたコンテナブロックを工夫して配置。
- ・経費削減のためプラグ苗づくりの研究に毎年取り組んでいる。
- ・銀行や郵便局等にプランターを貸し出し、花でやすらぎのあるまちづくりに努めている。
- ・仕事体験ボランティアの会である「お仕事チャレンジたかおか」の家族と一緒に、近くのすずかけ台公園で花苗の植栽を行っている。
- ・ふれあいロードだけでなく、近くのすずかけ台公園からふれあいロードまでの間に、自治

### ○花壇の概況

- ・規模 市道立野鴨島線の歩道及び栄町すずかけ公園 120m
- ・見頃 7月～10月
- ・所在地 高岡市立野445

# 仲間と共に 最高の花壇づくり

花と緑の銀行 入善支店

栲山地方銀行 グリーンキーパー 島先紀子

私が管理している花壇は、入善町栲山地区の中心地に位置する公民館敷地内にあり、地域のシンボルとして、訪れる人々の心を癒しています。

平成22年当時、私は公共施設である栲山公民館の管理人として勤務しており、花壇整備も手伝っていたところ、現頭取から登録を勧められたことがきっかけでグリーンキーパーの活動を始めました。

それ以来約15年間、平成29年に現上皇ご夫妻が来県された全国植樹祭の式典、花と緑の大会等、様々なイベントに参加し、感動や励ましをいただきました。そのおかげで花の名前すら知らなかった私が、活動を介して山野草に興味を持ち始め、その魅力に次第に引き込まれていき、今では

毎日の生活に欠かせないものとなりました。

その時々々の自然の草花に触れ、草花を通して人との出会いが生まれ、お互いを深めていくことの喜びと充実感は何ものにも代えがたい経験です。

毎月、定期的に行っている花壇整備には、グリーンキーパーの皆さんが自身の農機具や作業用具を持ち込み、無償の働きを惜しまずに作業される姿は、まさに地域貢献にふさわしいと感じています。

高齢になりましたが、これからも雑務係として、活動をささえていただいている仲間同士の繋がりを大切に、感謝を忘れず、微力ながら今後の活動に励んでいきたいと思ひます。



写真1 栲山交差点花壇



写真2 花壇の手入れ

## 報告コーナー

### 令和4年度「花とみどり・ふれあいフェア」を開催

2月18日(土)、19日(日)の2日間、令和4年度の「花とみどり・ふれあいフェア」をファボーレ(富山市)にて開催しました。

今年度もコロナ禍の中での開催となり、新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、体験教室、花の展示コーナーなどを中心に実施しました。

今回は、『花と緑でウェルビーイング』をキャッチフレーズに、ご来場の皆さんには、ご家族やお友達と一緒に、花と緑を見てふれていただき、心と体をリフレッシュしてもらえたのではないかと思います。



暮らしに花を飾る体験教室(寄せ植え)

### コンテナガーデンコンテスト入賞作品

賞	市町村	地方銀行	出展団体	タイトル
大賞	上市町	上市支店	花と緑の銀行上市支店	和(なごむ)
優秀賞	南砺市	福光支所	福光地域花と緑推進協議会	南砺の花園
佳作	高岡市	戸出	高岡市立醍醐公民館 花と緑の推進部会	早春賦・醍醐
佳作	南砺市	福野西部	福野西部花愛好会	早春の譜
佳作	射水市	小杉支所	小杉花作り同好会	小杉まるごと コンテナガーデン!!



大賞 花と緑の銀行上市支店

\* 応募総数：11作品 県内各地の「花と緑の地方銀行」から出展

## ○わたしの寄せ植え入賞作品

賞	氏名	市町村	タイトル
最優秀賞	坪田 朋子	高岡市	古城の花守り
優秀賞	高木 清一	砺波市	木漏れ日の春に・・・
優秀賞	中林富美子	氷見市	「移住」 自然と出会いに春の光
新人賞	小林 隆雄	高岡市	get over
佳作	京角 玉子	射水市	タマ・たま・玉、三姉妹<父の思い出と三姉妹>
佳作	吉居 紀子	南砺市	春風自南来
佳作	松井 啓子	上市町	平和への願い ～世界をひとつに～
佳作	川渕 高広	高岡市	春光ふりそそぐ花園



最優秀賞 坪田 朋子

\* 応募総数：24 作品 一般の方から出展、1 作品 特別出展（審査対象外）

## 🌸 お知らせコーナー（6月～8月の主なイベント）

### 🌿 令和5年度花と緑のコンクール

コンクール名	応募締切	審査日
○ 富山県花のまちづくりコンクール		
幼稚園・保育所花壇部門	7月12日(水)	7月19日(水)
学校花壇部門	7月12日(水)	7月20日(木)～21日(金)
プレミアム花壇部門	7月14日(金)	7月26日(水)
花の道	7月14日(金)	7月27日(木)～28日(金)
一般花壇部門	7月21日(金)	8月2日(水)～4日(金)
○ 花と緑の標語コンクール	8月1日(火)	8月31日(木)
○ 花と緑のポスター原画コンクール	9月7日(木)	9月12日(火)

### 🌿 富山県中央植物園

○夜間開園「ゲッカビジン観賞」 6月中旬～7月下旬(開花日2日間)  
19:00～21:30

○夏休み子ども企画「森のクラフト」

7月21日(金)～8月30日(水)

※8月4日(金)～6日(日)は休止

○夏休み子ども企画「オオオニバスに乗ってみよう」

8月4日(金)～6日(日)

○夜間開園「夜の熱帯植物探検」 8月25日(金)・26日(土) 18:30～21:00

(詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。参加には入園料が必要です。)



### 🌿 県民公園 頼成の森

○頼成の森「花しょうぶ祭り」 6月9日(金)～18日(日) 9:00～17:00

○野鳥と昆虫の観察会 7月23日(日) 9:30～12:00 定員:25名 参加費:無料

○守り人と歩く頼成の森<カブトムシウォッチング>

7月30日(日) 10:00～11:30 定員:20名 参加費:無料

○竹を使った工作教室 8月6日(日) 9:30～12:00 定員:20名 参加費:600円

○木製楽器づくり教室 8月20日(日) 9:30～12:00 定員:20名 参加費:600円

(詳細はHPをご覧ください。お申し込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ。)

### ◆お願い

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等のため、各行事の中止や内容の変更を行う場合があります。ご理解のうえ、各行事の詳細についてはその都度担当部署へお問い合わせください。

編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行  
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42  
TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923  
<https://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園  
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42  
TEL 076-466-4187 FAX 076-465-5923  
<https://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森  
〒939-1431 砺波市頼成156  
TEL 0763-37-1540 FAX 0763-37-1450  
<https://www.bgtym.org/ranjyounomori/>



花と緑の銀行だより 227号

発行日 令和5年(2023年)5月  
再生紙を使用しています。